

2022年度秋学期にスタートした「@ease（アット・イーズ）プロジェクト」。公募で採用された学部・研究科の学生=@easeサポーターが、協生環境推進室のコーディネーター、障害学生支援室と緊密に連携しながら、慶應義塾の全てのキャンパスの障害のある学生他をサポートしている。例えば、聞こえに困難のある学生のために講義の音声情報を文字通訳するPCテイクや、車椅子の方などへのキャンパス内の移動支援を行う。また、情報保障（困難がある方が必要とする情報を得ることができたり、理解できるようにすること）の一環として、教材の電子データ化や、式典やイベントなどの配信画面に字幕をつけるのも@easeサポーターの役割だ。なお、@easeサポーターは、障害のある方や多様な方々に安全に、適切で実践的なサポートを行えるよう、それぞれの興味に応じて専門家や当事者の方による勉強会や、障害平等研修（Disability Equality Training：DET）、ユニバーサルマナー検定などを受講し、スキルとマインドを身に付けている。

@ease サポーター紹介動画はこちらから



@ease サポーター3名にそれぞれの思いと活動内容について聞いたインタビュー・座談会が視聴できます。



左からコーディネーターの島田由美子さん、吉澤葵君（環境情報学部3年）、森崎悠真君（文学部1年）、矢上キャンパス職員千村文彦さん、菖蒲健太君（理工学研究科修士課程2年）



日吉キャンパスで開催された「ユニバーサルマナー検定2級」の実技研修。高齢者、視覚障害、車椅子など、障害者の困難さや気持ちを自ら体験しながらサポートのスキルを学ぶ。

矢上キャンパスで肢体不自由の千村さんの移動介助をする菖蒲君